

# 化学療法治療レジメン

申請書  
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	胃-5 サイラムザ + nab-PAC	総投与時間：約70-140分
申請医：鈴木 千晶Dr	催吐性リスク：軽度	最新登録日：2021年 8月

	薬剤名	投与方法	投与量	投与日	クール
	サイラムザ(RAM)	div	8mg/kg	D1,15	4週間
	アブラキサン(nab-PAC)		100mg/m <sup>2</sup>		
対象(適応癌種)	治癒切除不能な進行・再発の胃癌				

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	デキサート 6.6mg(適宜漸減) ポララミン 1A 生食 50mL	div (PVCフリー フィルター付 ルート)	500 mL/hr			D1,15
Rp2	生食 50mL		100 mL/hr			
Rp3	サイラムザ【 mg/body】 生食 (250- mL) = 【 mL】 ※サイラムザ(100mg/10mL)の注入分(mL)の生食 をあらかじめ抜き取る。		250 mL/hr	8 mg/kg	mg/body	
Rp4	生食 50mL	div (ケモセー フ)	500 mL/hr			
Rp5	アブラキサン【 mg/body】 生食 100mL ※生食100mLから必要量の懸濁用生食 を抜き取る。残った生食はすべて抜き取り 点滴バッグを空にする。 ※1バイアル(100mg)当たり生食20mLで 懸濁する。		( ) mL/hr (30分 かけて)	100 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp6	生食 50mL		500 mL/hr			

	薬品名【 投与量 】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	デキサート 6.6mg(適宜増減) 生食 100mL	div (ケモセーフ)	250 mL/hr			D8
Rp2	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp3	<b>アブラキサン【 mg/body】</b> 生食 100mL ※生食100mLから必要量の懸濁用生食 を抜き取る。残った生食はすべて抜き取 り点滴バッグを空にする。 ※1バイアル(100mg)当たり生食20mLで 懸濁する。		( ) mL/hr (30分 かけて)	100 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp4	生食 50mL		500 mL/hr			